

人と自然を大切にすろみちづくり

山口県の道路ではどの程度のCO₂が排出されているか？

CO₂排出量(自動車交通)

山口県内の道路交通に関する年間の燃料消費により算出したCO₂の排出量。

H16目標値

削減に
努める

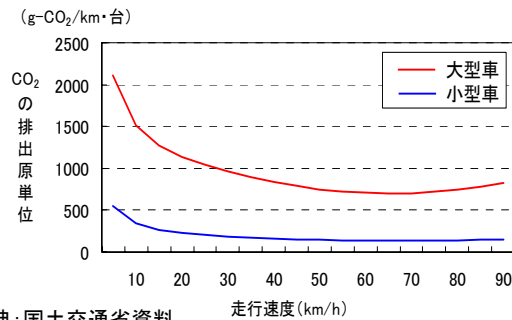
H16実績値

351
万t-CO₂/年
※平成13年度値

平成16年度目標値の達成状況

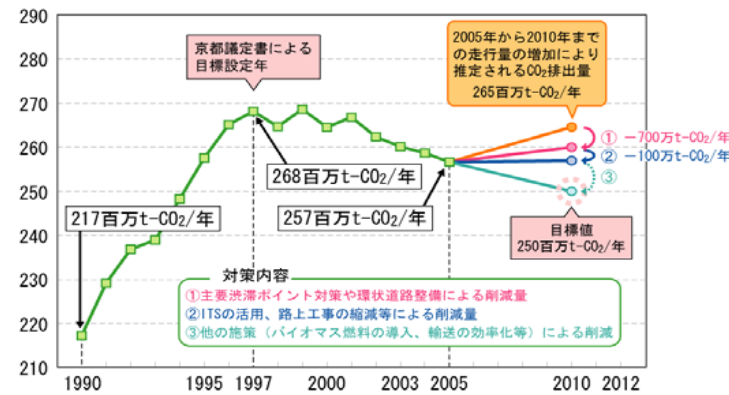
主要なCO₂の排出要因である都市部の渋滞緩和に向けて、国道2号花岡拡幅(バイパス区間)の供用など、道路ネットワークの整備を推進しています。

全国の運輸部門のCO₂排出量は、1997年(平成9年度)をピークに減少傾向にあります。



出典:国土交通省資料

CO₂排出量と走行速度との関係



※2004~2005年のCO₂排出量は1999~2003年のトレンドより推計
出典:地球温暖化のための道路政策会議資料

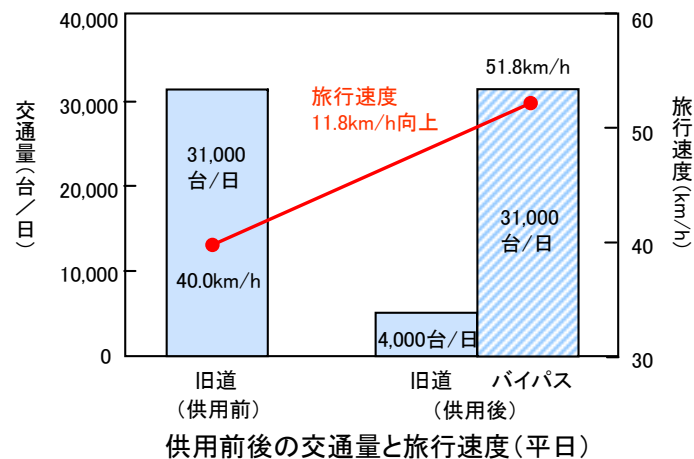
運輸部門におけるCO₂排出量の削減目標

平成16年度主な事業

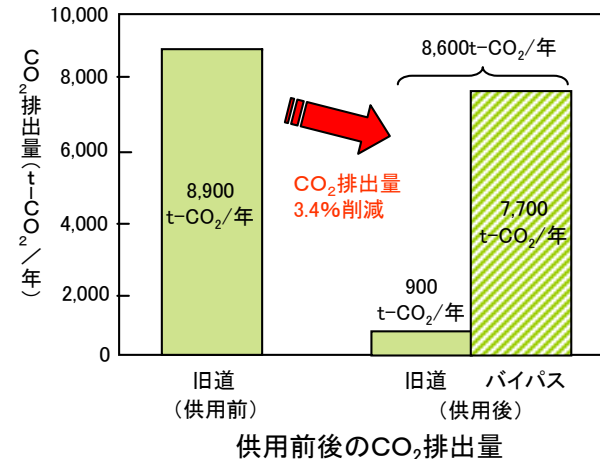
口国道2号花岡拡幅

一般国道2号花岡拡幅のバイパス部分(2.4km)の供用により、旧道部の交通量の約9割が走行性の高いバイパスへ転換しました。また、旅行速度は、供用前の旧道区間40.0km/hに対し、供用後のバイパス区間51.8km/hとなり、11.8km/h向上しました。

その結果、バイパス整備区間の年間のCO₂排出量は、8,900t-CO₂から8,600t-CO₂へ、約300t-CO₂(約3.4%)削減されました。これは、東京ドーム6個分の森林の年間CO₂吸収量に相当します。



供用前後の交通量と旅行速度(平日)



供用前後のCO₂排出量

人と自然を大切にすろみちづくり

交通事故が引き起こされる割合は？

事故率

[事故率=事故件数/自動車走行台キロ]

交通量及び延長(自動車走行台キロ)に対する事故件数。

H16目標値

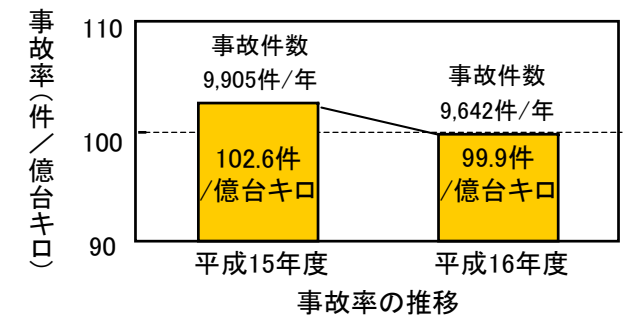
削減に
努める

H16実績値

99.9
件/億台キロ
(達成)

平成16年度の目標達成状況

山口県内の事故率は、平成15年度の102.6件/億台キロから99.9件/億台キロへ減少しました。また、県内の事故件数は、平成15年度の9,905件/年から平成16年度は9,642件/年に減少しています。



事故率の推移

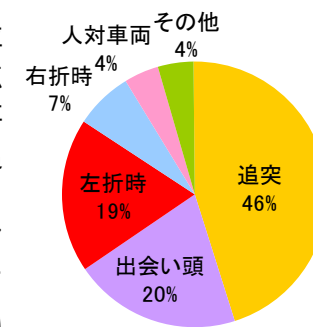
平成16年度主な事業

口国道190号新生町交差点改良

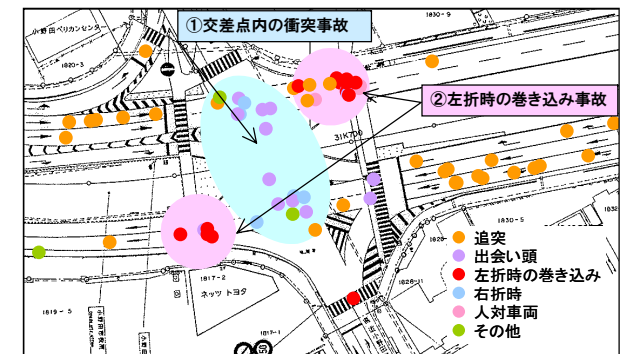
(1)対策前の状況

山陽小野田市の中心市街地に位置する国道190号新生町交差点は、自転車・二輪車の巻き込み事故や右折車と直進車の衝突及び追突事故などが多発していました。

このため、あんしん歩行エリア及び事故危険箇所の両方に指定され、早急な対策が必要とされました。



事故類型(H8~H15)

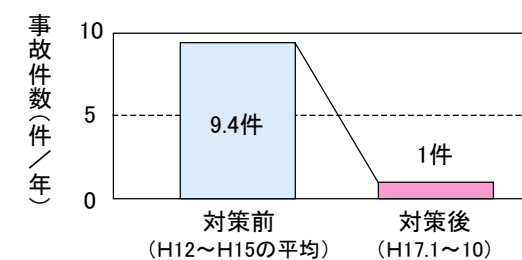


事故発生位置(H8~H15)

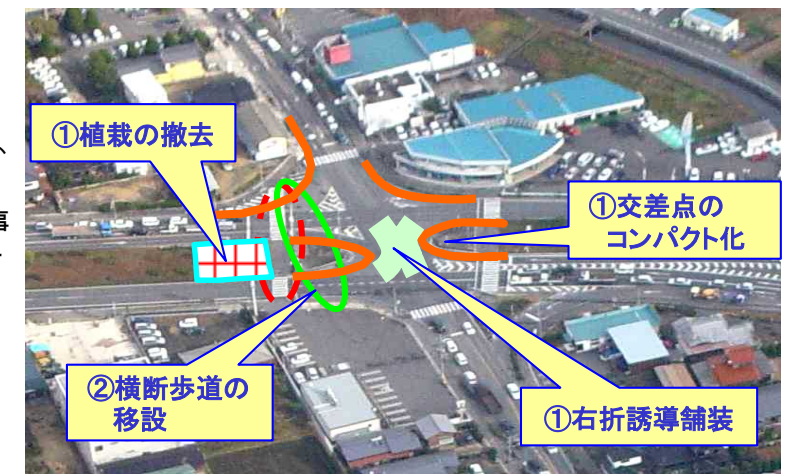
(2)対策の概要と効果

今回の交差点改良では、交差点内における右折車と直進車の衝突事故等の対策として、交差点をコンパクトにし、右折誘導舗装を敷設し、視距改良のために植栽を撤去しました。左折時の巻き込み対策として、横断歩道を移設しました。

これにより、過去5年間で平均9.4件発生していた事故が、平成17年は10月までに1件の発生に留まっています。



対策前(H12~H15の平均) 対策後(H17.1~10)



対策内容